

音楽科 学習指導案

令和2年10月 第4学年 指導者 藤波 美佐

1 題材名 ききどころを見つけて「ノルウェー舞曲第2番」

2 学習指導要領上の位置付け

B 鑑賞(1) ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。
イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと。

3 目標

鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 「ノルウェー舞曲第2番」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付く。

(知識及び技能)

イ 「ノルウェー舞曲第2番」の音色、リズム、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 「ノルウェー舞曲第2番」の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開 (2/3)

(1) ねらい

音楽を形づくっている要素を手掛かりに、互いの気付きを共有・共感しながら聴くことを通して、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて気付くことができるようにする。



(2) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て
1 前時の学習を想起する。	5分	◎「ノルウェー舞曲第2番」の「始め」「中」「終わり」の曲想及びその変化を捉えやすくするために、音楽に合わせて体を動かしながら鑑賞させる。 ○前時の学習内容を想起させるため、前時に児童が感じたことや気付いたことを提示する。
2 本時のめあてをつかむ		[めあて] 「ノルウェー舞曲第2番」の曲想の変化のひみつを見つけよう。

<p>3 音や音楽の雰囲気を感じ取り、雰囲気が醸し出す理由を、音楽を形づくっている要素を手掛かりに探りながら鑑賞する。</p> <p><「始め」の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・のんびりしているように感じたのは、速度がゆったりとしているからです。 ・楽しい感じがしたのは、リズムがはずんでいたからです。 ・おどけたゆかいな感じがしたのは、旋律の高低があったからです。 ・明るい感じがしたのは、オーボエのはっきりした音色からです。 <p><「中」の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・怖い感じがしたのは、低い音がしたからです。 ・迫ってくる感じがしたのは、強弱が突然強くなったからです。 ・激しい感じがしたのは、突然速度が速くなったからです。 ・暗い感じがしたのは、短調だったからです。 ・逃げている感じがしたのは、旋律が細かかったからです。 <p><「終わり」の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「始め」の部分と同じ旋律が出てきました。 	<p>30分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「始め」「中」「終わり」を分けて聴かせて、三つの部分のそれぞれの曲想及びその変化に気付きやすくする。 ○自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりを結び付けてワークシートにまとめるよう促す。 ◎気付きを共有・共感しながら、自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりについて考えることができるように、ペアで意見交流する場を設ける。 ◎音や音楽の捉え方を広げ深めるために、クラス全体で交流する場を設ける。 ◎児童の気付きを手掛かりにして、自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素を基に、教師が意図的に問い掛けながら結び付ける。 ○自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりに気付けるよう、聴き取ったことと感じ取ったことに分けて板書する。 ◎旋律の高低の変化を捉えやすくするために、教師がピアノで曲を演奏し、それに合わせて手を上下させる。 ○旋律の高低の変化について、視覚的にも捉えやすくするために、「始め」の部分の跳躍進行をしている楽譜と、「中」の部分の順次進行をしている楽譜をそれぞれ提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「ノルウェー舞曲第2番」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。 <記述・発言(1)(知) [記]></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて再確認できるよう、板書を見ながら鑑賞する。
<p>4 学習のまとめをし、学びを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>曲想が、「始め」の部分の優しい感じから、「中」の部分の激しい感じに変化したひみつは、速度や強弱が突然速くなったり強くなったり、聴こえてきた楽器の音が違ったりしたからだと思いました。</p> </div>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて考えたことを自分の言葉でまとめ、発表する場を設ける。 ○次時には、「ノルウェー舞曲第2番」のききどころをみんなに紹介する学習をすることを伝え、次時の学習の意欲につなげる。

6 板書計画

10/7 かんしょう 「ノルウェー舞曲第2番」の曲想の変化のひみつを見つけよう。

感じ取ったこと	〈始め〉		〈中〉		〈終わり〉	
	のんびり	おどけた	こわい	暗い	のんびり	おどけた
	おだやか	楽しい	はげしい	せまる	おだやか	楽しい
	明るい	ゆかい			明るい	ゆかい
	⇕		⇕		⇕	
聴き取ったこと	速度	・ ゆっくり		・ とつぜん速くなる		〈始め〉の 部分と 同じ
	強弱	・ 少し弱い		・ とつぜん強くなる		
	音色	・ オーボエの音色 (はっきり)	⇨	・ 低い音がする	⇨	
	調	・ 明るい (長調)		・ 暗い (短調)		
	旋律	・ 高低がある		・ となりの音に進んでいる		
	リズム	・ はずんでいる (スタッカート) ・ スキップリズム		・ 細かい (16分音符が多い)		
						

指導計画 音楽科 第4学年 題材名「ノルウェー舞曲第2番」(全3時間計画)

目標	<p>ア「ノルウェー舞曲第2番」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付く。(知識及び技能)</p> <p>イ「ノルウェー舞曲第2番」の音色、リズム、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ「ノルウェー舞曲第2番」の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。(学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 「ノルウェー舞曲第2番」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。(知識・技能)</p> <p>(2) 「ノルウェー舞曲第2番」の音色、リズム、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) 「ノルウェー舞曲第2番」の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>		
過程	<p>時間</p> <p>○ねらい ☑めあて</p>	<p>・振り返り(意識)</p>	<p>評価項目 <方法(観点)></p>
つかむ	<p>1</p> <p>○「ノルウェー舞曲第2番」の曲想及びその変化を捉えながら聴くことを通して、この曲への興味・関心をもち、「ノルウェー舞曲第2番」の学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <div data-bbox="305 982 904 1092" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ノルウェー舞曲第2番」の情景を想像しながらきこう。</p> </div> <div data-bbox="305 1119 904 1256" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【題材の課題】 曲のよさやおもしろさを発見しながら、味わってきこう。</p> </div>	<p>・音楽を聴きながら、「始め」「中」「終わり」でいろいろな情景が想像できました。みんなそれぞれ想像したものが違っていて、おもしろかったです。</p>	<p>・「ノルウェー舞曲第2番」の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <発言・行動(3)></p>
追求する	<p>1</p> <p>○音楽を形づくっている要素を手掛かりに、互いの気付きを共有・共感しながら聴くことを通して、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて気付くことができるようにする。</p> <div data-bbox="305 1520 904 1629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ノルウェー舞曲第2番」の曲想の変化のひみつを見つけよう。</p> </div>	<p>・曲想が、「始め」の部分の優しい感じから、「中」の部分の激しい感じに変化したひみつは、速度や強弱が突然速くなったり強くなったり、聴こえてきた楽器の音が違ったりしたからだと思います。</p>	<p>・「ノルウェー舞曲第2番」の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。 <記述・発言(1)[記]></p>
まとめる	<p>1</p> <p>○曲全体を聴きながら、自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりから想像したことを紹介文にまとめ、友達と意見交流することを通して、この曲や演奏のよさを見だしながら、曲全体を味わって聴くことができるようにする。</p> <div data-bbox="305 1970 904 2079" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>曲の面白いところや、気に入ったところを友達にしょうかいしよう。</p> </div>	<p>・曲全体が「始め」「中」「終わり」になっていて、オーケストラで演奏されていますが、「始め」の部分は、オーボエという楽器で旋律を演奏しているので、おどけた感じがしました。また、「中」の部分は突然速度が速く、強弱も強くなるので、何か迫ってくるような、怖い感じがしました。でも、「終わり」の部分はまた「始め」と同じ旋律が繰り返され、おだやかな感じで曲が終わりました。友達がおもしろいと言っていたところに着目したら、より楽しく聴けました。</p>	<p>・「ノルウェー舞曲第2番」の音色、リズム、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさやおもしろさ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 <記述・発言(2)[記]></p> <p>・「ノルウェー舞曲第2番」の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <記述・発言(3)[記]></p>